ver.2.0.1.0



報告書作成支援ソフトウェア

取扱説明書







Report Editor ver.2.0.1.0 操作説明書



目次

1. セ	ットアップ方法 2
1.1 1.2	インストール
2. Re	eport Editor Advance の起動と終了4
2.1 2.2	Report Editor Advanceの起動
3.機	能
3.1 3.2 3.3	主な機能
4. 画	面説明7
4.1 4.2 4.3 4.4 4.5 4.6	ファイル
5. 操	作説明13
5.1 5.2 5.3 5.4	画像データの操作13ポイント操作23設定26編集30

1. セットアップ方法

1.1 インストール

本ソフトは Report_Editor_Advance・ソフトウェア本体と取扱説明書で構成されています。

<再インストール・Advance にアップデートする場合>

《注意》前回インストールされたソフトとフォルダが残っている場合、不具合が発生いたします。

- 1. スタートメニューからコントロールパネル、プログラムと機能を開きます。(または windows キーを押し ながら R を押し appwiz.cpl と入力)
- 2. Report Editor または Report Editor Advance をアンインストールします。
- 3. アンインストール後、下記の場所に ReportEditor のフォルダが残っている場合は削除します。

64bit の場合 C:¥Program Files (x86)¥NSS 32bit の場合 C:¥Program Files (x86)¥NSS

<初回インストールのお客様>

《注意》ソフトインストール作業は、USB(ドングルキー)をパソコンに挿入せずに行ってください。

- 動作環境依存コンポーネント】フォルダ内にある3つのプログラム(dxwebsetup.exe、 dotNetFx35setup.exe、vcredist_x86.exe)を実行して、インストールします。
 - 動作環境依存コンポーネント
 HASPUserSetup.exe
 Report_Editor操作説明書2.0.0.3.pdf
 ReportEditorSetup.msi
 Setup.exe
 DirectX エンド ユーザー ランタイム Web インストーラ
 Microsoft .NET Framework 3.5
 Microsoft Visual C++ 2008 SP1 再頒布可能パッケージ (x86)
- 2. 【HASPUserSetup.exe】を実行して、インストールします。



3. 【setup.exe】を実行して、Report Editor/Report Editor Advance をインストールします。



4. 正常にソフトがインストールされた場合は、USB をパソコンに挿入すると、ドングルキー内の LED が 赤く点灯します。



1.2 アンインストール

すでに古いバージョンの Report_Editor_Advance がインストールされている場合は、システムコントロール パネル内の「プログラムの追加と削除」または「プログラム機能」より古い Report_Editor または Report_Editor_Advance を削除してください。

アンインストール後、下記の場所に ReportEditor のフォルダが残っている場合は削除します。 64bit の場合 C:¥Program Files (x86)¥NSS 32bit の場合 C:¥Program Files (x86)¥NSS

2. Report_Editor_Advance の起動と終了

2.1 Report_Editor_Advance の起動

※注意»・USB ドングルを PC の USB ポートに挿入していない場合、
 Report_Editor_Advance を起動させることはできません。
 ・USB ドングルが接続されていることを確認してから起動して下さい。



・デスクトップ上のアイコンReportEditor.exeをダブルクリックすると起動します。

2.2 Report_Editor_Advanceの終了

画面右上の×ボタン - レンを押して終了してください。

3. 機能

報告書作成ソフトの機能について以下に示します。

3.1 主な機能

- ・測定データファイルの読み込み(*.DZT,*.DZTX)
- ・レーダデータ画像化
- ・波形表示
- ・ポイント表示
- ・ポイント座標表示
- ・配筋表表示
- ・Excel への画像出力
- ・複数の測定データの Excel 出力
- ・ポジション、比誘電率などの設定
- ・スクリーンショットで JPEG 形式 PING 形式 TIFF 形式 BMP 形式の何れかの形式画像保存

3.2 画面構成

報告書作成ソフトは、タブ機能を用いた MDI(マルチ・ドキュメント・インタフェース)形式のユーザーインターフェースにより、複数のデータを同時に展開・表示が可能です。

本ソフトが立ち上がると以下の画面が表示されます。

Report Editor				
ファイル 設定 編集 表示	ミッール ヘルプ			
📽 📽 🛃 🗾		🛒 🗙 🔁		
設定ダイアログ	•			*
画面比率 1:1/2 •				
比誘電率 12.00				
ガイン 20 💌				
▶ 日付表示 角度发更 □				
IFF ポイント表示 サイズ カラー スタイル				
▼ 水平柏表示 スケール 50 cm				
水平神間給改置				R.
גע~ע 0 cm				
♥ 深度軸表示 スケール 10 cm □□ path ★テ				
一单位				
C [mm] @ [cm] C [m]				
表示力ラー「白黒」				
「皆果消去の全体」の地表面				
	1			1.19
				-
1				L Ka

図 3.2-1 初期画面

3.3 メニュー

メニュー項目を以下に示します。



図 3.3-1 メニュー画面

(1) 「ファイル」メニュー

ファイルの展開及びファイル保存を行います。

- (2)「設定」メニュー 画像データに関する表示設定を変更することができます。
- (3)「編集」メニュー 画像データのコピー、切り取りを行うことができます。
- (4) 「表示」メニュー オブジェクトの整列、表示されているポイントの整列、画面上に表示されている設定ダイアログの表示/非表 示の設定が行えます。
- **(5)「ツール」** (本機能は現在サポートされておりません)
- (6) 「ヘルプ」メニュー バージョン情報の開示、PDF 形式でマニュアルを閲覧することができます。

4. 画面説明

アイコンメニューを以下に示します。



図4 アイコンメニュー

4.1 ファイル

フ	アイル	設定	編集	表示
	DZT用	「式ファ・	イルを開	<
	別形式	(でファ-	イルを開	<
	別形式	いでデー?	夕保存	
	画像例	存		•
	添付係	存		
	一括画	儼変換		
	一括画	儼変換	(個別)	

図4.1-1 ファイルメニュー

(1) DZT ファイルを開く

DZT形式のデータフォーマットファイル(以降[DZTファイルと云う])を読み込みます。 誘電率等は DZTファイル内に保存された値で読み出します。

D12 アイコン

をクリックしても起動します。

※ファイルの容量によって読み出しに時間がかかる場合があります。

(2) 別形式でファイルを開く

DZTX ファイル (DZT ファイルにポイントを打ち込み保存させたファイル)の読み込みを行います。



をクリックしても起動します。

※ファイルの容量によって読み出しに時間がかかる場合があります。

(3) 別形式でデータ保存

アイコン

DZT ファイルで開かれた画像にポイントを打ち込み保存させる場合に使用します。 保存形式は DZT 形式 から DZTX 形式へと変更されます。



(4) 画像保存

画像データ(A モード波形または B モード波形)のみを JPEG 形式 PING 形式 TIFF 形式 BMP 形式の何れかの形式で保存することができます。

【Bモード波形】の画像保存は、アイコンをクリックしても起動します。

【A モード波形】の画像保存は、ポイントが打たれた箇所の A モード波形を個別に画像データとし保

存します。アイコンをクリックしても起動します。

(5) 添付保存

選択されている画像データを Excel に貼り付け、xlsx 形式として保存することができます。 ポイント表示されている画像データであれば配筋表を表示させることもできます(後述)

アイコンをクリックしても起動します。

(6) 一括画像変換

複数の DZT 形式もしくは DZTX 形式のファイルを開かずに、一度に画像データ Excel に貼り付けた 一つの xlsx 形式として出力・保存することができます。ポイント表示されている画像データであれば配 筋表を表示させることもできます。

ファイルの読み出しが終了すると自動的に Excel ファイルが表示されます。

001.DZTX,002.DZTX,003.DZTX,004.DZTX,005.DZTX→00a.xlsx

※表示する DZT, DZTX ファイルの数が多くなるほど、読み出しに時間がかかります。

(7) 一括画像変換(個別)

複数の DZT 形式もしくは DZTX 形式のファイルを開かずに、一度に画像データ Excel に貼り付けた 個々の xlsx 形式として出力・保存することができます。ポイント表示されている画像データであれば配 筋表を表示させることもできます。

001.DZTX→001.xlsx 002.DZTX→002.xlsx 003.DZTX→003.xlsx 004.DZTX→004.xlsx 005.DZTX→005.xlsx

※表示する DZT, DZTX ファイルの数が多くなるほど、読み出しに時間がかかります。



図4.2-1 設定メニュー

(1) 地表面位置

読み込まれた、又は選択された波形データ画像に対して、地表面の位置を変更することができます。 ※5.5.1 にて詳細説明があります。

(2) 比誘電率計算

読み込まれた、又は選択された波形データ画像に対して、比誘電率の変更を行うことができます。比誘電率 を変更すると波形データの深度が再計算され、深度軸目盛りの値が変更されます。 ※5.操作説明にて詳細説明があります。

(3) 減算処理

読み込まれた、又は選択された波形データ画像から、指定された測線のデータを減算処理します。減算の基準となる測線は、十字カーソル(クロスカーソル)の縦軸となります。 ※5.操作説明にて詳細説明があります。

(4) 日付編集

選択されている画像データに表示されている作成日、測定日を変更することができます。

日付編集	
測定日	ок
2012 🖃 1 💌 月 31 💌 日	Cancel
作成日	
2012 🗄 4 💌 月 21 💌 日	,

図 4.2-2 日付編集画面

(4) 初期設定

設定ダイアログに表示されている項目や画像保存を行う場合の画像の保存方式について、デフォルト形式を 設定(初期設定)することができます。

初期設定	
初期設定 配筋判定表	
表示色	ガイン
水干軸表示 ↓ 水干軸表示 スケール 10 cm 単位 ○ [cm] ○ [m] 水干釉開始位置 スケール 0 cm	データ測定:作成日 データ測定日 ・ 表示 ○ 非表示 データ作成日 ・ 表示 ○ 非表示
- 深度軸表示 「深度軸表示 スケール 100 mm 「 深度軸表示 スケール 100 mm 「 目盛り表示 単位 「 [nm] C [cm] C [m]	ポイント設定 ポイントサイズ 小 ・ ポイントカラー 赤 ・ ポイントスタイル × ・
比誘電率 ・ 任意設定値 C 測定時の値 8.1	■●像の保存形式 ・ JPEG
画面比率 画面比率 /-マル ▼ 方向 ○ 正方向 ○ 逆方向	で xlsx
時間軸表示 間隔 1 ns	■面サイズ 画面サイズ 「小 ■
	OK CANCEL

図 4.2-3 初期設定画面

表 4.2 初期設定詳細

①表示色	データ波形の表示色を設定します。 白黒/黒白/白黒(階調)/赤青/多色のいずれかを選択します。
	水平軸表示:軸表示の有無をチェックにより設定します。
②水平軸表示	スケール:軸の目盛りの間隔を入力します。
	単位:cm/mのいずれかを選択します。
	深度軸表示:深度軸表示の有無をチェックにより設定します。
③深度軸表示	間隔:深度軸の目盛りの間隔を入力します。
	単位:mm/cm/mのいずれかを選択します。
○山毛玉杏	任意設定:データファイル読込み時、任意で入力された値でデータを表示します。
④대訪電举	測定時の値:データファイル読込み時、測定時の値でデータを表示します。
⑤画面比率	データ表示の画面比率を設定します。ノーマル/1:2/1:1/2のいずれかを選択します。
6方向	データの表示方向を設定します。正方向/逆方向のいずれかを選択します。
⑦ゲイン	データの表示感度を設定します。1.0~4.0 で 0.1 刻みの設定が選択できます。
⑧データ測定・作成日	データの測定日・作成日の表示を選択します。
	ポイントサイズ : 小/中/大のいずれかを選択します。
⑨ポイント設定	ポイントカラー:白/黒/赤のいずれかを選択します。
	ポイントスタイル : ○/×のいずれかを選択します。
⑩画像の保存形式	画像保存する際の保存形式を設定します。JPEG/PING/TIFF/BMPのいずれかを選択します。
⑪EXCEL 出力形式	エクセルへ画像変換する際の保存形式(.xlsx/.xls)を選択します。
②比誘電率の表示	画像保存する際の比誘電率の表示・非表示を選択します。
③画面サイズ	画面サイズの小/中/大のいずれかを選択します。

編集	表示	ツール	ヘルプ				
幸	服告書の	雛形を登	禄				
0.0	雛形を作成						
ł	」。 辺抜き						
į	記戻す						
図 4	.3-1 約	扁集メニ					

(1) コピー

選択されている画像データをクリップボードに貼り付けます。

アイコン をクリックしても起動します。 貼り付けしたいワードやエクセルファイルを開き、右クリックの「貼り付けオプション」で貼り付けす ることができます。

(2) 切抜き

選択されている画像データの一定区間を切抜くことができます。

アイコン をクリックしても起動します。

(3) 元に戻す

選択されている画像データで地表面位置の変更・減算処理・切抜き等で変更された内容を元に戻すことができます。

4.4 表示



(1) フォームの整列

現在表示されているフォームの整列を行うことができます。 上下に表示を行う方法と重ねて零列させる方法の二種類の表示方法があります。

(2) ポイントの整列

ポイントの表示されている画像データにのみ有効です。ポイントの番号を左から1とし、番号を付け直 す「左→右」と右からを1とし、番号を付け直す「右→左」の二種類の整列方法があります。

(3) 設定ダイアログ

画面上に表示されている設定ダイアログの表示、非表示の設定を行うことができます。

(4) ポイント座標リスト

画面下に【ポイント番号】、起点からの【距離】、【被り】を表にして表示します。単位の設定は設定ダイ アログの水平軸・深度軸表示スケールに従います。



図 4.4-2 ポイント座標リスト

4.5 ツール

現在ツール機能は使用できません。

4.6 ヘルプ



図 4.5-1 編集メニュー

(1) バージョン情報

現在の Report_Editor_Advance のバージョン情報の開示を行います。

バージョン情報画面を閉じる場合は、"OK"ボタンかウィンドウ右上の"×"ボタンを押して ください。

(2) マニュアルを開く

Report_Editor_Advanceのマニュアルを表示します。(PDF ファイル閲覧ソフトが必要です。)

5. 操作説明

5.1 画像データの操作

画像データに関する操作方法について説明します。

(1) 画像データの読み込み

編集する波形データの読み出しを行います。

手順1) 「ファイル」メニューから"DZT 形式ファイルを開く"またはアイコン をクリックします。 手順2) 画像データ化したいファイルを選択し、"開く"ボタンを押します。読み出しを中断する場合は、 "キャンセル"押してください。

理 👻 新しいフォルダ	<u>ات</u>		• 🗖	0
ようしょう ちょうしょう しゅうしょう ちょうしょう ちょうしょう ちょうしょう ちょうしょう ちょうしょう しょうしょう ちょうしょう しょうしょう ちょうしょう しょうしょう ちょうしょう しょうしょう ちょうしょう しょうしょ しょうしょう しょう	名前	更新日時	種類	1
📕 ダウンロード	File_001.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル	
最近表示した場	File_002.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル	
= T X9F97	File003.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル	
ライブラリ	File_004.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル	
i ドキュメント	File_005.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル	
● ピクチャ ● ビデオ ● ミュージック	File_006.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル	
コンピューター 				
<u>.</u>	<u> </u>			<u>}</u>
7	「アイル名(N):	RADAN d	ata(*.DZT)	-

図 5.1-1 データ読み込み画面

手順3)読み込みが完了すると下記のような画面になります。 画像データは、複数展開させることができます。

《注意》 画像データを展開させすぎると、PCのメモリ容量を超えてしまい、本ソフトウェアが終了してしまうことがあります。

設定ダイアログ	📢 🚽 sample DZT 🔯	
画面比率 1:2 ▼ 比誘電率 1 ゲイン 13 ▼ ゲへ詳細数定		max
▶ 日付表示 角度变更 0 °		
 ▼ホイント表示 サイズ カラー スタイル ト・・ 日・×・・ ア・チャー酸ま示 スケール ● cm ● Cm ● cm ★千輪思示な母ール ● cm ★「cm」 ⊂ [m] ★千輪思な母ー スケール ■ 10 cm 		
	S 10	91 cm
□ 深変観表示 25 - L 10 cm □ 日型む表示 □ ○ [mm] ○ [cm] ○ [m] □ □中田純表示 1055 □ 1 m2		A cm 7 as
表示カラー 白黒 💽		

図 5.1-2 画像データ表示

(2) 画面比率の変更

表示中、または選択中の波形データ画像を次の比率で表示することができます。

- ノーマル : 通常の表示
- 1:2 :ノーマル表示に対して、縦軸1:横軸2の比率で表示します。
- 1:1/2 : ノーマル表示に対して、縦軸1:横軸1/2の比率で表します。





図 5.1-4 画面比率設定 【1:2】



図 5.1-5 画面比率設定 【1:1/2】

表示中、または選択中の波形データ画像の比誘電率を変更することができます。



図5.1-6 比誘電率変更前の波形データ画像



図5.1-7 比誘電率変更後の波形データ画像

比誘電率を変更すると深度が再計算され、深度軸目盛りが変更されます。

(4) ゲインの設定

表示中、または選択中の波形データ画像の表示ゲインを変更することができます。 変更可能な値は 0.1 刻みで 1.0~4.0 の範囲です。



図 5.1-8 ゲイン設定1



図 5.1-9 ゲイン設定 2

また「ゲイン詳細設定」を押下すると、データを縦に最大5階層に分割し、それぞれの階層に対して 個別にゲインを設定することができます。

		ゲイン詳細	設定	
•		深度分割	5	•
•		階層1	2.0	•
~		階層2	2.1	•
×		階層3	2.2	•
<u>v</u>	V	階層4	2.3	•
-		階層5	2.4	•
完了		J	設定完了	
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		 ✓ ✓<td> ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ○ ○</td>	 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ○ ○





図 5.1-11 ゲイン詳細設定後

探査面に傾斜角がある場合の鉛直かぶりを Excel に出力します。

手順1:「設定ダイアログ」の"角度変更"をクリックして、探査面の傾斜角度θを入力してください。 手順2:Excel で添付出力すると、左図にあるように補正されたかぶり D'と起点からの距離 L'の値が鉄筋 判定表に表示されます。

なお、本機能は上り傾斜角度のみ対応しております。測定は上り傾斜方向でお願いします。



図5.1-12 傾斜角度変更画面

かぶり厚(傾斜角 0°)

鉄筋 No	1	2	3	4	5	6	7	8
距離(cm)	16.1	27.6	49.4	65.6	81.6	112.7	124.2	134.6
被り(mm)	52	101	205	134	311	121	119	121
間隔(cm)	0	11.5	21.8	16.2	16.0	31.1	11.5	10.4
被りの平均(mm)	145.5							

かぶり厚(傾斜角 30°)【補正された距離、被りが表示されます(赤字)】

鉄筋 No	1	2	3	4	5	6	7	8
距離(cm)	19.1	33.4	61.2	73.4	99.6	119.7	131.0	141.6
被り(mm)	60	117	237	155	359	140	137	140
間隔(cm)	0	14.3	27.8	12.2	26.2	20.1	11.3	10.6
被りの平均(mm)	168.1							



図 5.1-13 ポイント表示

設定ダイアログから選択されている画像データのポイントの表示、非表示を変更することができます。選択している画像データのポイントを表示しない場合にはチェックを外してください。(ポイントを非表示にしても、ポイントデータは記憶されています。)

サイズを変更するとすでに打ち込まれたポイントすべてが変更します(サイズの個別設定はありません。)。ポイントカラーとスタイルは、これから打ち込むポイントに対してのみ有効となっています。す でに打たれたポイントに対しては、ポイント上で右クリックすることで変更することが可能です。

(7) 水平軸の表示

表示中、または選択中の波形データ画像の水平軸方向に目盛りを表示します。 設定ダイアログの「水平軸表示」にチェックを入れます。 詳細な設定は以下のとおりです。

単位: [cm]:間隔は1~1000まで入力可能(少数入力可)

[m]:間隔は0.01~10まで入力可能(少数入力可) ※開始前に水平軸開始位置が"0"になっていることをご確認ください。



図 5.1-14 水平軸(目盛り)

表示中、または選択中の波形データ画像の深度軸方向に目盛りを表示します。 設定ダイアログの「深度軸表示」にチェックを入れます。 詳細な設定は以下のとおりです。 単位: [mm]:間隔は 10~10000 まで入力可能(少数入力不可)

[cm] : 間隔は 1~1000 まで入力可能(少数入力可)

[m] :間隔は 0.01~10 まで入力可能(少数入力可)



図5.1-15 深度軸(目盛り)

(9) 時間軸の表示

表示中、または選択中の波形データ画像の電磁波到達時間の目盛りを表示します。 設定ダイア ログの「時間軸表示」にチェックを入れます。 詳細な設定は以下のとおりです。

単位: [ns]:間隔は0.1~8 まで入力可能(少数入力可)



図5.1-15 時間軸(目盛り)

(10) 表示カラーの変更

表示中、または選択中の波形データ画像の表示カラーを指定することができます。 選択可能なカラーは以下の通りです。



図5.1-16 表示カラーの種類

表示中、または選択中の波形データ画像に対し、背景消去処理を行います。

全体・・全体に現れる横縞模様を消去し画像を見やすくします。

地表面・・地表面反射波形を消去し画像を見やすくします。







図5.1-18 背景消去(全体)後の波形データ画像

(1) ポイント入力方法

表示中、または選択中の波形データに対し、任意の地点にポイントを設定することができます。

手順1)表示中、または選択中の波形データに対し、ポイントを入力したい位置にマウスカーソルを移動します。

手順2) 左クリックもしくは Enter Key を押すとポイントが入力されます。入力されたポイントは ×印とポイント番号で表示されます。



図 5.2-1 ポイント打ち込み画面

(2)ポイント削除

表示中、または選択中の波形データのポイントを削除することができます。

手順1) 表示中または選択中の波形データのポイント位置にマウスカーソルを合わせます

手順2) 左クリック又は Enter Key を入力すると選択されたポイントが下記画像のような表示に変更されます。



図 5.2-2 ポイント選択

※ポイントの選択状態を解除したい場合は ESC Key を入力すると解除されます。

手順3) 選択したポイントが水色の格子で囲まれている状態でキーボードの Delete Key または右クリックを押し、表示されるメニュー項目の削除を押すと、選択したポイントが削除されます。

(3) ポイント打ち直し

表示中、または選択中の波形データに対し、ポイント番号を別箇所に打ち直すことができます。

手順1)打ち直したいポイントにマウスカーソルを合わせます。

手順2) 左クリック又は Enter Key を入力すると選択されたポイントが水色の格子で囲われます

手順3)選択されたポイントで右クリックを押すと下記のようなメニューが表示されます。



図 5.2-3 打ち直し選択画面

手順4)表示されるメニュー項目の"打ち直し"を選択し、別箇所にもう一度ポイントを打ち込むと打ち直しを 選択した番号のポイントがもう一度打ち直され、下記画像のようになります。



図 5.2-4 打ち直し画面

(4)ポイントカラー個別設定

すでに表示されているポイントのポイントカラーは、個別に変更することができます。ポイントカラーは、"白"、"黒"、"赤"の3色から選択することができます。



手順1)ポイントカラーを変更したいポイントにマウスカーソルを合わせます。

手順2)選択したポイント上で左クリックまたは Enter Key を押すと選択されたポイントが水色の格子で囲われます。



図 5.2-6 ポイント選択

※ポイントの選択状態を解除したい場合は ESC Key を入力すると解除されます。

手順3)選択状態で右クリックを押すとメニューが表示され、下記画像のように表示されます。



図5.2-7 個別カラー変更画面

手順4)カラー変更項目から"黒"、"赤"、"白"の何れかを選択すると選択した色に変更されます。



図5.2-8 カラー変更後

(5) ポイントサイズ変更

ポイントサイズの変更は設定ダイアログから行うことができます。

表示サイズには"大"、"中"、"小"の3つがあり、いずれかを設定することができます。 ポイントサイズの変更は、先にポイントが打たれていても、画像データに表示されているすべてのポイン トサイズを一括して変更します。



図5.2-9 ポイントサイズ

(6) ポイント表示

設定ダイアログから選択されている画像データのポイントの表示、非表示を変更することができます。選択している画像データのポイントを表示しない場合にはチェックを外してください。 (ポイントを非表示にしても、ポイントデータは記憶されています。)

5.3 設定

(1) 地表面位置の変更

表示中、または選択中の波形データ画像に対し、地表面の位置を任意に設定することができます。

手順1) 「設定」メニューから"地表面位置"を選択します。

	地表面位置	
	比誘電率計算	
定ダイフ	減算処理	etest DZT
	日付編集	
金を使う	初期設定	(cm)

図5.3-1 地表面位置メニュー

手順2)表示されるダイアログの"実行"キーを押します。ここで"キャンセル"キーを押すと地表面位置設定の処理は中断されます。

frmBasePointInfo
<< 警告 >>
地表面位置の変更は元の画像に対して変更します。 (一度変更したものからの変更はできません)
ここで"実行"すると現在の設定は失われます。
実行しますか? 実行 キャンセル

図5.3-2 地表面位置実行ダイアログ

手順3)波形データ画像上に表示される十字カーソル(クロスカーソル)の水平方向位置を地表面位置として 設定します(マウスをクリックする)。



図5.3-3 地表面位置設定中画面

手順4)次に表示されるダイアログの"変更"キー押下で地表面位置が変更されます。ここで"キャンセル"キーを押すと、元の(本来の)画像が表示されます。



図5.3-4 地表面位確認ダイアログ

- 手順5)地表面位置が変更された波形データ画像が表示されます。

図5.3-5 地表面位置設定後画面

注意)ポイント入力後、地表面位置を変更した場合、ポイント位置がずれます。必ずポイントを入力する前に地表面位置は変更してください。

(2) 比誘電率計算

深度が既知の埋設物を用いて比誘電率を計算することができます。

手順1) 「設定」の「比誘電率計算」をクリックする。(何も表示されない)

設定	編集	表示	ש
봐	表面位記	鼍	
Ħ	:誘電率	†算	
濵	算処理		-t
E	1付編集		
初	期設定		
11110		_	

図5.3-6 比誘電率計算メニュー

手順2) 深度が既知の埋設物の位置にカーソルを合わせて左クリックまたは Enter を押してください。

手順3 比誘電率計算ダイアログが表示されますので、「変更」に既知の値を入力し、実行を押してください。設定ダイアログに計算された比誘電率が表示されます。



図5.3-7 比誘電率計算ダイアログ

(3) 減算処理

表示中、または選択中の波形データ画像に対し、全波形データに減算処理を行うことができます。 基準位置は、十字カーソル(クロスカーソル)の縦軸で指定された位置となります。

手順1) 「設定」メニューから"減算処理"を選択します。

Report	Editor
ファイル	設定 編集 表示 ツール ヘルプ
設定ダイ	減算処理
THE REAL	日付編集
一回面に	初期設定
ゲイ	

図5.3-8 減算処理メニュー

手順2)表示されるダイアログの"実行"キーを押します。ここで"キャンセル"キーを押すと減算処理は中断されます。

frmHaikeiInfo	
《 警告 〉〉	
減算処理は元の画 (一度変更したもの	i像に対して変更します。 からの変更はできません)
ここで" 実行" すると	現在の設定は失われます。
実行しますか?	実行 キャンセル

図5.3-9 減算処理実行ダイアログ

手順3)波形データ画像上に表示される十字カーソル(クロスカーソル)の垂直カーソルを基準位置に合わせます。



図5.3-10 減算処理置設定中画面

手順4)次に表示されるダイアログの"変更"キーを押すと減算処理が実行されます。ここで"キャンセル"キーを押すと、元の(本来の)画像が表示されます。

frmHaikei	
実行しますか?	変更
	キャンセル

図5.3-11 減算処理確認ダイアログ

手順5)減算処理された波形データ画像が表示されます。 ※減算処理では、基準位置の測線の値(Aモード)が0となります。



図5.3-12 減算処理置設定後画面

注意)地表面位置の変更、比誘電率計算、減算処理後、DZTX ファイルとして保存しても変更値は保存されませんので、データはその都度エクセルに出力して保存してください。

5.4 編集

(1) コピー

選択されている画像データの画像のみをコピーすることができます。



画像のコピーを行いたい画像データを選択し、コピーまたはアイコンい。

コピーを行った後、ペイントや Word に"貼り付け"を行うと画像のみが張り付けられます。word に貼り 付けた場合は下記のように表示されます。



図 5.4-1word 貼り付け

(2)切抜き

表示中、または選択中の波形データ画像に対し、指定された位置で切抜きを行います。 切抜き範囲は、十字カーソル(クロスカーソル)の縦軸で指定します。

手順1)アイコンの"切抜き"または「編集」メニューから"切抜き"を選択します。

Report Editor	
ファイル 設定 編集 表示	
📽 📽 🛃 🗾	🗵 🚺 🗌 🚾 💥 🌄
設定ダイアログ	FILE_004.DZT
画面比率 1:1/2 ▼ 比誘電率 12:00 ゲイン 2:0 ▼	(cm) (cm) 0

図5.4-2 切抜きメニュー

手順2)表示されるダイアログの"はい"キーを押します。ここで"いいえ"キーを押すと切抜き処理は中断されます。

frmPictCutInfo	
<< 元の画像に戻りますン	>>>
画像の切抜きは元の画作 現在設定中の場合、ここ	タに対しておこないます。 で″はい″を押すと現在の設定は失われます。
よろしいですか?	(ぱい) いいえ
	//

図5.4-3 切抜き実行ダイアログ

手順3)波形データ画像上に表示される十字カーソル(クロスカーソル)の深度方向位置を基準位置として2 点を設定します(マウスをクリックする)。



図5.4-4 切抜き置設定中画面

手順4)表示されるダイアログの"実行"キーを押すと切抜き処理が実行されます。ここで"キャンセル"キーを 押すと、元の(本来の)画像が表示されます。

切抜き		
選択範囲を切抜き	きますか?	
水平位置	再設定	実行
38.1 (cm) -	103.7 (cm)	キャンセル
1	j i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	

図5.4-5 切抜き確認ダイアログ

手順5)切抜かれた波形データ画像が表示されます。

設定タイアログ	📢 ┥ sample DZT 🔯	
画面比率 1:1/2 王		
比誘電率 1.00		min 0 max
ゲイン 22 🔳		
ゲイン詳細設定		2
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		5
▶ ポイント表示		S
91ス カラニ スタイノ		2
		2
□ 水平軸表示 スケール □ 10	am	\sim
≆ i⊆ @ [cm] ⊂ [m]	and the second se	3
一水平轴照给位置		
スケール 10 an	1	X 1007 cm Y 643 cm 380 cc

図5.4-6 切抜き置設定後画面

5.5 表示

(1) 複数の波形データ画像の整列

表示中の波形データ画像を上下に整列させることができます。



図5.5-1 複数の波形画像を読み出した画面(タブで画像を選択)

手順1)「表示」メニューから"フォーム整列"の"上下に整列を"を選択します。

表示	シール ヘルプ	_
	フォームの整列	上下に整列
	ポイントの整列 🛛 🕨	
~	設定ダイアログ	🗙 sample.DZT 🔀



図5.5-2 上下に整列後の画像(タブで画像を選択)

(1) 添付保存

現在選択されている画像データおよびポイントが入力されている画像データであれば、図 5.6-3 のように配筋 判定表を Excel に貼り付けて保存することができます。図 5.6-1 の配筋判定表は「設定」メニューから"初期設 定"を選択し、"配筋判定表"のタブを選択すると表示されます。

		距離単位	(* (mm)	((cm)	C (m)
7 かぶり厚 「「許容誤差	%表示	からの単位	(inm)	(cm)	(° (m)
	表示				
▶ 鉄筋No	2				
足國新(mm)	2				
被り(mm)	R				
NETAS(mm)					
被りの平均(mm)	E				
:我告十(直(mm)	E				
許容誤差(mm)上限					
許容誤差(mm)下限	E				
合否判定	F				
7 鉄筋間隔 厂 許容誤測	5%表示 事業		-	-	
5 鉄筋間風 「 許容誤想 ▶ 鉄筋No	整%表示 表示				_
	£%表示 表示 ▼		_		-
▼ 鉄筋間隔 「 計容誤え ▶ 鉄筋No 2EBAT(mm) 狭り(mm)	£%表示 表示 ₽	1		i	
7 核筋間隔 「 許容誤想 > 読筋No 2E部(mm) 波(mm) 間隔(mm)	を 参示 を 下 「			i	_
 	25%表示 25示 ▼ ▼	1			
 注約部18 注約部18 注約部10 注約17mm) 決約(mm) 提取(mm) 提取(mm) 提取(mm) 提取(mm) 提取(mm) 提取(mm) 	£%表示 表示 ₽ □		1		
 また新聞 「計 また新い また新い また新い またが (nm) またが (nm) またが (nm) またが (nm) またが (nm) 	£%表示 表示 ▼ 「 「 「				
 また部内の をた部内の をた部内の をた部内の をた部内の をたまの内の などの ののの	5%表示 表示 □ □ □ □ □	1		Ī	
 技動間周 「計容器2 鉄動間周 「計容器2 鉄動印 2時間(mm) 期間(mm) 開調(mm) 開調(mm) 開調(mm) 開調(mm) 開調(mm) 計容器差(m) 計容器差(m) 計容器差(m) 	ジ%表示 表示 マ 「 「 「 「 」 「 「				
 技動電域 「計容調え 鉄筋やb 鉄筋やb 装筋やb 装筋(mm) 間隔(mm) 間隔(0平均(mm)) 設計(値(mm)) 計容話差(cm)上段 注容話差(cm)下段 合否判()) 	ž%表示 表示 ▼ □ □ □ □				
 (株前衛国) 「計審議 (株前帝国) 「計審議 (株前市内) (株前市内) (株市内) (株市	É%表示 表示 ア □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				

図 5.6-1 配筋判定表

- 手順1)鉄筋判定表に出力する距離およびかぶりの単位(mm・cm・m)を選択して下さい。なお B モード画像の水平軸、垂直軸の単位と間隔の設定は、初期設定または設定ダイアログで設定して下さい。
- 手順2)鉄筋判定表にはすでに打たれたポイントデータの内容が表形式にまとめられています。鉄筋判定表の一 番左のセルへ以下の項目を入力することにより、合否判定が可能です。不要な場合は入力する必要はあり ません。

・設計値

- ・許容誤差
- ・設計本数
- 手順3)上記のうち「設計値」、「許容誤差」の入力が完了しますと、各ポイントデータの合否判定が自動計算 されます。
- 手順4)出力時に表示しない項目がある場合は各項目の「表示」欄のチェックをはずしてください。また、 表の上にある「かぶり厚」、「鉄筋間隔」のチェックを外すと、該当する表そのものが出力されないようにな ります。
- 手順5)以上で添付保存の準備が整いましたので、「OK」ボタンを押下し、配筋判定表の入力を終了しま す。

手順6) 「ファイル」メニューから"添付保存"または、アイコン をクリックします。 Excel ファイルの作成が完了すると自動的に Excel ファイルが開かれます。

手順7) お使いの PC にインストールされている Excel のバージョンによっては、下記のような警告文が表示さ れることがあります。添付保存した画像データを開く場合には"はい"を押してください。なお <u>Excel の</u> <u>出力バージョンを変更したい場合は、初期設定の"EXCEL 出力形式"で希望のバージョンを選択してく</u> ださい。

Microsoft	Excel	22
4	'sample.xls' のファイル形式と拡張子が一致しませ	ファイルが破損しているか、安全ではない可能性があります。発行元が信頼できない場合は、このファイルを開かないでください。ファイルを開きますか? はい(Y)
	この情報は役に立ちましたか?	

図 5.6-2 Excel 警告文

手順7)作成された Excel ファイル名は添付保存に使用したファイル名と同名になっており、添付保存に使用したファイルと同じフォルダ内に作成されています。

sample (cm)								
(cm) 10 20 30 40 50 60	70 80 90 1001	10120130140150)					
0 1 1								
Xa								
10 - 2		678						
	A	XXX						
	X							
20 – 3		19833						
X		\mathbb{P}^{n}						
20		1 dans N						
30 -	5							
/ N	X							
40 -	A							
	1							
測定日:2010/1/30	E							
作成日:2016/6/3 比誘電率:6.00								
かぶり厚								
鉄筋No	1	2	3	4	5	6	7	8
距離(cm)	25.6	37.2	59.3	76.1	91.1	122.4	132.8	145
被り(cm)	0.6	1.1	2.4	1.8	3.6	1.4	1.4	1.4
間隔(cm)	0	11.6	22.1	16.8	15	31.3	10.4	12.2
被りの平均(cm)	1.71							
設計値(cm)	1.1							
許容誤差(cm)	-10	~ 0						
設計本数	7							
合否判定	合	合	否	否	否	否	否	治
鉄筋間隔								
鉄筋No	1	2	3	4	5	6	7	8
距離(cm)	25.6	37.2	59.3	76.1	91.1	122.4	132.8	145
被り(cm)	0.6	1.1	2.4	1.8	3.6	1.4	1.4	1.4
間隔(cm)	0	11.6	22.1	16.8	15	31.3	10.4	12.2
間隔の平均(cm)	17.06							
_設計値(cm)	40							
<u>許容誤差(cm)</u>	-10	~ 0						
設計本数	0							

図 5.6-3 Excel 添付保存後

一括画像変換をクリックするとファイル選択画面が表示されます。一度に Excel ファイルに変換したいファイル(.DZT,.DZTX)を選択してください。

キーボードの Ctrl Key を押しながらクリックすると一括変換を行いたいファイルのみを選択することができます。

すべてを選択したい場合は、ファイルを選択していない状態で Shift Key を押しながら一番下のファイル を選択してください。

選択を行うと下記のような画面になります。

▼ 新しいフォルダ	-) EE 🔹 🛅
お気に入り 🔺	名前 -	更新日時	種類
ダウンロード	File_001.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル
最近表示した場	File002.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル
テスクトップ	File003.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル
ライブラリ	File004.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル
ドキュメント	File005.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル
ピクチャ	File_006.DZT	2012/04/17 17:51	DZT ファイル
ビデオ	TEST.DZTX	2012/04/17 17:28	DZTX ファイル
	TEST2.DZTX	2012/04/20 17:53	DZTX ファイル
コンピューター	TEST3.DZTX	2012/04/20 17:53	DZTX ファイル
ローカル ディスク ローカル ディスク ローカル ディスク			
	アイル名(N): "TEST2.DZTX" "TEST	3.DZTX" "File RADAN d	lata(*.DZT;*.DZT)

図 5.6-4 一括変換複数ファイル選択画面

一括変換を行いたいファイルの選択が完了すれば開くボタンを押してください。
 (表示される順番はフォルダ内に表示されている順番で Excel に画像データが張り付けられていきます。)

注意1) 一括画像変換時に表示できる配筋判定表の項目は添付保存する場合よりも表示数が少なくなっており、配筋判定表のかぶり厚項目からは「鉄筋 No」「距離」「被り」「間隔」「彼りの平均値」、鉄筋間 隔項目からは「鉄筋 No」「距離」「被り」「間隔」「間隔の平均値」のみとなります。

注意 2)作成された Excel ファイル名は一括変換を行った日付になっており、一括変換時に読み出したファイルと同じフォルダ内に作成されています。

注意3)同じフォルダ内に保存しようとする既に作成された Excel ファイル名は一括変換を行った日付に なっており、一括変換時に読み出したファイルと同じフォルダ内に作成されています。



ver.2.0.1.0



製品に関するお問い合せ先

KE	TEC 	ンクリート鉄筋探査機器の	パイオニア
お問合せ	URL www.key-t.co.jp	KEYTEC	検索
関西オフィス	TEL 078-200-52	17 FAX 078-20	0-5227
東京オフィス	TEL 03-5534-888	31 FAX 03-553	4-8883

※この取扱説明書の仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。